



よこすか市議会だより

No.24

平成29年(2017年)
5月12日号

YOKOSUKA CITY COUNCIL

〒238-8550 横須賀市小川町11番地 ☎046(822)9394 [市議会事務局議事課]

横須賀市議会

検索

pd-ccs@city.yokosuka.kanagawa.jp

発行 横須賀市議会
編集 横須賀市議会だより
編集委員会



横須賀市歌制定50周年を記念して、議場コンサートを行いました。出演は横須賀芸術劇場少年少女合唱団の皆さん。曲目は「横須賀市歌」、「海からふく風、海へとふく風」、「ふるさと」の3曲。素晴らしい歌声が議場に響きました。

3度目の問責決議を可決

平成29年第1回定例会が2月15日から3月24日までの38日間で開催され、主に平成29年度予算について審議を行いました。予算総額は3,155億円。第2次実施計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略に沿った予算計上となっております。

2月23日から2月28日までの本会議では、市長等に対し各会派の代表6名による代表質問と無党派議員3名による個人質問を行いました。

3月1日は中学校完全給食実施等検討特別委員会と予算及び議員提出議案第1号「横須賀市給食条例制定について」の審査を行いました。

その後3月3日からは、4つの常任委員会(分科会)に分かれて、所管部局ごとに詳細な審査を行いました。また、3月22日の予算決算常任委員会において、議案第39号都市公園条例改正案に対し一部を修正する動議が提出され、全会一致で可決しました。

定例会最終日には、横須賀芸術劇場少年少女合唱団を招いて議場コンサートを行いました。その後、本会議を開会し、市長の割引券つき名刺問題について議員3名が緊急質問を行いました。次いで、決議案第1号「吉田雄人市長に対する辞職勧告決議」が提出されましたが否決され、続いて決議案第2号「吉田雄人市長の割引券つき名刺配布に関する問責決議」が提出され、賛成多数で可決しました。これは吉田市長に対する3度目の問責決議になります。

第1回定例会 代表質問・個人質問

田辺 昭人 議員 自由民主党

横須賀再生のために積極的な政策実施を!

問 市税収入の減収を次期計画ではどのように考えているのか。

答 次期財政基本計画において、経済の活性化に関する数値目標を改めて設定し、取り組んでいく。

問 我が国の近代史を物語る歴史遺産の保存活用について、安価で実効性のある方法を検討すべきではないか。

答 CG等の最新映像技術による仮想体験やICT技術を活用した見せ方などを検討する。

問 近年増加する外国人観光客の受け皿として、

問 本市の特性を活かした民泊の活用を進めるべきではないか。

答 民泊は周辺商店街との連携も期待できるチャンスであり、今後、地域特性を活かした宿泊ニーズを捉えていく。

問 本市在住の外国人の方が活動しやすいよう、市内道路や観光拠点における英語併記を進めるべきではないか。

答 英語を話す人のニーズ把握調査を行い、できるだけ早く進めていく。

問 横須賀の都市イメージを発信する上で、海と

田辺 昭人 議員 自由民主党

新しい横須賀のために「未来への投資」を!

問 小児医療費助成の中学校3年生までの拡充と所得制限撤廃は、財政的な壁が大きいですが、子育て世代へのアピール度の強い施策だ。市としてインパクトがある施策を打ち出すことも大事ではないか。

答 本市の結婚・子育て世代の満足度向上のためにも、未来を担う子どもたちの健やかな成長のために、小児医療費助成の拡充は重要な施策であると考える。

問 平成29年度に横須賀中央エリア整備構想図を

答 平成29年度に横須賀中央エリア整備構想図を

中央エリア整備構想図を

どんなときにも対応できる市議会へ

地方議会には、毎年決められたときに開かれる定例会と、急遽議会の審議が必要になった場合に開かれる臨時会があります。定例会の合間の閉会期間中や、緊急で議事を召集する時間が無い場合は、議会の決定・議決の前に、首長が自ら決定する専決処分を行うこととなります。しかし、この場合議会の監視機能が働きません。

必要に応じて迅速に本会議・委員会を開き、きちんと議会が審議することで、適正な市政執行がされるように、横須賀市議会では5月から通年議会を導入し、ほぼ1年を通して定例会の会期として閉会期間をなくしました。

また、時を同じくして、災害発生時における市民の安全確保と災害復旧に向けて、市と連携を取り、迅速かつ適切な災害対策活動を行うことを目的として、横須賀市議会災害時BCP(業務継続計画)を策定しました。

いつでも、どんなときにも対応できる市議会を目指します。

関沢 敏行 議員 公明党

新しい横須賀のために「未来への投資」を!

問 小児医療費助成の中学校3年生までの拡充と所得制限撤廃は、財政的な壁が大きいですが、子育て世代へのアピール度の強い施策だ。市としてインパクトがある施策を打ち出すことも大事ではないか。

答 本市の結婚・子育て世代の満足度向上のためにも、未来を担う子どもたちの健やかな成長のために、小児医療費助成の拡充は重要な施策であると考える。

問 平成29年度に横須賀中央エリア整備構想図を

答 平成29年度に横須賀中央エリア整備構想図を

中央エリア整備構想図を

【1面からの続き】

り込めるように頑張っていきたい。

【問】聴覚に障害を持つ子どもたちが通う市立ろう学校では、緊急時や災害時の迅速な情報伝達に不安を抱えている。正確かつ迅速に情報を伝えられるデジタルサイネージ(※)を設置し、子どもたちの生命や身体の安全を守ることに市長、教育長の所見を伺う。

【答】瞬時により多くの正確な情報を視覚的に得ることができることから、デジタルサイネージの活



用は有効だと考える。【答】具体的な情報を得ることで、起きている事柄に対して的確な行動をとることができるようになる。設置について前向きに考えたい。

嘉山 淳平 議員 無所属みらい 子どもが主役になれる予算配分を!

【問】バランスのとれた予算配分を引き続き行っていくのか、あるいは5年10年先を見据え、今は反対があるかもしれないが未来の子どもたちのために断行するのか。次代にとって、やってよかったと思われる政策判断をすべき。いかがお考えか。

【答】バランスは大事だとは思いますが、八方美人の予算をつくっても意味がないと私も思う。5年10年、その先を見据えた考えのもと予算をつける、あるいはやめる。そういった判断をしていく必要があると思っている。

【問】新しく放課後子ども教室を1校導入する予算があるなら、まだ学校に学童クラブが整備できていない地域に予算投下すべき。市長も学童クラブ

【答】優先順位としては、私もそう思う。今回学童の予算を切った新しい取り組みをスタートしたのではなく、これまで以上に学童クラブには6億円規模の予算化をしている。

【問】施設配置適正化計画について、部署の動きも方向性もばらばら。現状の体制では担当課3人しかおらず、これで血の通った施設配置を進められるとは到底思えない。計画を進めていく体制づくりから改める必要があると思うが、いかがか。

【答】次期実施計画策定の際には分野別の施設配置実施計画も固まってきて

いると思うので、進行管理のあり方を含めて、具体的にどのような体制で臨むべきか検討していきたい。

杉田 惺 議員 市政同友会 久里浜地区のまちづくりについて

【問】JR久里浜駅前周辺の土地を所有している国やJR東日本との土地の有効活用に向けた交渉状況について伺う。

【答】平成27年度に国、JR東日本と意見交換を行い、先方の意向を伺いながら本市における土地利用方針案を平成28年度中に作成していく。

【問】横須賀線による久里浜の東西地域分断を解決する跨線橋の新設について考えを伺う。

【答】国やJR東日本との調整は必要だが、東西を結ぶアクセスについては、跨線橋を含め検討していく。

【問】JR久里浜駅改札周辺における複合ビル構想及び警察署予定地奥の国有地への南体育会館移転の検討について考えを伺う。

【答】施設配置適正化計画の中で、現在、施設分野別実施計画を検討しているところであり、この計画を踏まえて検討していく。

【問】同検討を実施した場

【答】同検討を実施した場



ペリー公園

小林 伸行 議員 研政 市長は公約を守ったのか? 2期8年間の総括

【問】公約「中学校での給食実施」に二の字に

【答】任期中には応えられ

ない。現時点で時期を示すのは難しい。【問】政策集「保育園の待機児童を解消」は達成できるか? 横濱も川崎も達成した。

【答】解消には至らず、定員拡充に努めたい。

【問】一期目から「市民が主役のまちづくり」と掲げてきたが、施設配置適正化計画も市民不在の意思決定ではないか?

【答】計画の策定過程は「市民が主役のまちづくり」に沿っている。

【問】既にその計画も狂ってしまった。施設総量30%に相当する財源確保策を。【答】大変難しい。

【問】政策集に「公共施設マネジメント白書に基づいた施設の適正な配置計画を検討」とあり、白書では「30%削減しないと

【問】空手形を切れないからこそ、17%という数字にコミットした。

【問】詭弁だ。この8年間で、本気で「チェンジ」したと胸をはって言えるか。

【問】原因究明と再発防止に努めること。

【問】原因のフィードバックもセットではないか。

【問】米海軍が事故調査をしっかりと行って、再発防止の対策がとられることが大事。

【問】基本水量を2カ月16mに見直し、水道料金体系改正へ足を踏み出す時だと思いがいかか。

【問】実行計画の中で基本水量の引き下げも含め検討していきたい。

【問】1カ月177時間の時間外労働をしている職

員がいる。1日平均残業が8時間は異常である。【問】どう思うか。

【問】私も異常だと思つ。【問】具体的な改善策はどうするの。

【答】人員配置を増強する

【問】カジノ誘致反対せよ/死に場所を強要するな

【問】カジノ等IRを誘致している横浜市に反対し、ギャンブル依存症への支援や相談窓口がない本市の現状を改善すべき。

【問】横須賀市に意見は述べない。相談窓口を設置する必要性は感じている。

【問】延命治療拒否と自宅死だけが正しい選択肢のように様々な機会に語る市長の言葉に傷つけられた市民は多い。不十分な医療福祉の現状のまま死

【問】今後は失礼な物言いにならないよう気をつけたい。市外の病院や施設で暮らす方は行政の手が届きづらく、現時点で具体的な対応策は示せない。

【問】子ども園建設に対する市長の意気込みについて伺う。

【問】広げるための子育てフォーラムを開催しては

【問】全ての子育てする市民が利用する拠点施設として、拡充した内容で整備を進めていかなければならないと考えている。

【問】市立保育園での子ども主体の保育への移行期に必要な対応は。

【問】現場の人員配置については、必要に応じて考える。

【問】子育て支援の裾野を

【問】このほかに、青木哲止議員が個人質問を行いました。(紙面の都合上、質問記事は議員一人あたり年2回までの掲載となります。)

【問】子育て支援の裾野を

予算決算常任委員会

29年度予算等24議案可決、1議案修正可決

本委員会では、平成29年度一般会計予算を中心に5つの分科会において延べ12日間審査を行い、活発な質疑が交わされました。

その中で議案第39号「都市公園条例中改正について」で提案された指定管理者の制限行為に対する許可権の拡大について、「行商、募金に類する行為」、「業として行う写真または映画の撮影」、「興業」、「集会等で都市公園を独占して使用すること」の全てに対して許可権を付与した場合、指定管理

者の管理する公園における行商や興業、独占使用等において、公平性を担保できない可能性があり、百条委員会でも取り上げられたポートマーケットにおけるパーベキューパーク問題のように、指定管理者等に必要以上の権限を与えることにより、特定の事業者への便宜が図られる可能性が排除でき

ないことは問題が生じるとい理由から、指定管理者に付与する許可権については「業として行う写真または映画の撮影」のみとする修正が提案されました。

常任委員会の審査から

生活環境常任委員会(分科会)

広域消防運用開始 安心して働ける環境づくりを

平成29年度一般会計予算の審査では、町内会・自治会への防犯カメラ設置推進のための方策、地域支援交付金の交付による住民自治の促進に向けた効果検証の重要性及び交付要件の考え方、町内会・自治会の負担軽減のための連絡窓口一本化の必要性、定日ごみ収集運搬業務の委託率拡大の方向性、生ごみ処理機器普及促進のための広報強化及び補助率見直しの必要性などについて質疑がありました。

また、1年9カ月の協議を経て4月に開始する三浦市との消防広域化に向けて、決意及び広域化による効果や、違う組織が一つになること



広域消防運用開始式

また、部局間にまたがる質疑では、非常勤職員の時間外勤務の状況及び同勤務をした場合の今後の対応について質疑が交わされました。

また、部局間にまたがる質疑では、非常勤職員の時間外勤務の状況及び同勤務をした場合の今後の対応について質疑が交わされました。

(委員長 杉田 惺)

教育福祉常任委員会(分科会)

子育て支援の充実と子どもの居場所について

平成28年度補正予算案の審査では、ひとり暮らし高齢者支援事業における入浴券利用数、学力向上サポートティーチャーの配置状況、教育扶助費申請者の減少と子どもの貧困緩和の関連性など多くの質疑が交わされました。

また、平成29年度予算案の審査では、新規事業である放課後子ども教室について、他部課実施の学習支援事業とのすみ分け、開設時間延長の必要性、学力向上サポートティーチャーとの違い、同教室実施後の学力向上サポートティーチャーの方向性など多くの質疑がありました。



存続することとなった天神島ビジターセンター

この他、介護施設等外国人人材育成支援事業の介護人材確保策における位置づけ、ふれあいお弁当事業における民間活用等の可能性、近隣他都市における骨髄移植

ドナー支援事業助成金の取り組み動向、いのちの基金積立金充当先の妥当性、妊娠SOSカー

(委員長 関沢敏行)

総務常任委員会(分科会)

英語コミュニケーション環境の充実で多くの議論

平成28年度補正予算案の審査では、地方創生拠点整備交付金に係る事業であるくりはま花の国施設改修事業が不採択となり、財源を市債に補正をする案件や法人市民税・地方消費税交付金の減少による減収補てん債の発行などに対して質疑が交わされました。

また、平成29年度当初予算の審査では、都市イメージ創造発信事業、メディアを活用した効果的なプロモーションの展開、近代歴史遺産活用事業、定年退職予定自衛官を対

よる市内日本人家庭訪問事業について多くの質問があり議論が展開されました。



横須賀ホームビジットのホストファミリー希望者研修の様子

都市整備常任委員会(分科会)

指定管理者への許可権付与に質問が集中

平成28年度補正予算案の審査では、スマートインターチェンジ整備事業においてルートを見直した場合の総事業費の見込みや公園リニューアル事業整備後における集客推進に向けた取り組み、他都市における立地適正化計画策定事業費に対する国庫補助金の全国的な減額の傾向などについて質疑が交わされました。

平成29年度当初予算案の審査では、貝山地下壕の公開に向けた整備検討事業の実施スケジュール、横須賀中央

横須賀中央エリア整備構想図作成後のまちづくりの進め方、道の駅設置に向けた調査研究



公開に向け整備を実施する貝山地下壕

次いで、一般報告では、運動施設の利用促進のために、施設を予約しているにも関わらず、当日無断キャンセルをした人に対し、ペナルティ制度を設けることとしたとの報告を受けました。

(委員長 永井真人)

平成29年第1回定例会 審議結果

○は賛成、×は反対

Table with columns for 議案番号, 賛否が分かれた議案, and various political parties (自由民主党, 公明党, etc.) with approval status (○ or ×).

*その他議案42件については、全会一致で可決しました。詳細は市議会ホームページにも掲載してありますので、ご覧ください。
*議長は、議事を取り仕切る立場から、採決に加わりません。

【会派所属議員名】

- 自由民主党 木下憲司 田辺昭人 青木秀介 松岡和行 大野忠之 渡辺光一 南まさみ 井口一彦
公明党 板橋 衛(議長) 鈴木真智子 土田弘之宣 石山 満 関沢敏行 本石篤志 二見英一
無所属みらい はまのまさひろ 矢島真知子 永井真人 嘉山淳平 葉山 直 小幡沙央里 山本けんじゅ
市政同友会 伊藤順一 伊東雅之 加藤眞道 西郷宗範 杉田 惺 山口道夫
研 政 角井 基 伊関功滋 小林伸行 高橋英昭 長谷川昇
日本共産党 大村洋子 ねぎしかずこ 井坂 直

決議

Table with columns for 件名 and 結果. Items include resignation advice and coupon distribution.

請願・陳情

Table with columns for 件名 and 結果. Items include school lunch, police withdrawal, and park safety.

*審査終了とは、委員の意見が一致しないなど委員会としての結論が出せずに審査を終えた場合を言います。

Includes a photo of council members and a '編集後記' (Editor's Note) section.

6月定例議会のお知らせ. Includes a calendar of meetings from May 31 to June 16 with meeting names.

「市給食条例」を提出、可決. Article discussing the proposal and approval of the city school lunch ordinance.